

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

国語小委員会委員長

米 谷 優



調査研究・審議の経過	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者 2 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（7月9日）で4者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月7日、8日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通じて各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の育成についてどのような学習活動を取り上げているか、という視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、系統的、発展的に組織されているか、という視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか、という視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	1 東京書籍については、「言葉の学習を始めよう」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるという特色があり、優れている。 三省堂については、「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示すなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるという特色があり、優れている。 教育出版については、「道しるべ」や「学習活動の流れ」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるという特色があり、優れている。 光村図書については、「学びのかぎ」や「振り返る」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるという特色があり、優れている。 2 このほか、4者とも二次元コードによるデジタルコンテンツを活用した学習活動の工夫について話題も出されていた。



国語の目標について
【教科の目標】 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
【学年・領域等の目標など】 [第 1 学年] (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 [第 2 学年] (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 [第 3 学年] (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、生徒が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

第 1 学年—140 単位時間 第 2 学年—140 単位時間 第 3 学年—105 単位時間

様式 3

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	観 点	2・東書	第1学年	国語・002-72	新編 新しい国語 1
			第2学年	国語・002-82	新編 新しい国語 2
			第3学年	国語・002-92	新編 新しい国語 3
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 集めた情報の整理の仕方を身に付け、図表を入れたレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を考える活動 第2学年～ 必要な情報に着目し、囲みや矢印、表を使い整理する活動や、写真資料を使って古典を学び、筆者のものの見方や考え方を捉える活動 第3学年～ インターネットなどで調べることを通して、情報の信頼性と客観性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、一節を引用して考えを書く活動				
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 話の中心を明確にし、スピーチの構成を考える活動や、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動 第2学年～ 資料や機器を活用して分かりやすく説明したり、伝えたりする活動や、互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す活動 第3学年～ 相手や目的に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、多様な意見を理解し、互いの意見を生かして話し合い、合意を形成する活動				
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 調べて分かった事実や考察について構成を考えてレポートを書く活動や、根拠を明確に示し、自分の意見が伝わる文章を書き、感想を交換する活動 第2学年～ 多様な方法で集めた材料を整理し、読み手の立場に立って表現を工夫する活動や、根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動 第3学年～ 集めた材料を吟味し、目的や意図に応じて文章の種類を選択して書く活動や、論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある批評文を書く活動				
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 詩に描き出されている風景や、込められている思いを想像し、音読する活動や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する活動 第2学年～ 登場人物の言動の意味を考えて作品を読み深める活動や、複数の文章を読み比べて、構成や論理の展開、表現の工夫について考える活動 第3学年～ 作品の展開や表現の仕方に着目し、批評する活動や、文章に書かれている内容の妥当性を吟味・検討しながら読む活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などの描写をもとに読み取ったり、文章の構成や表現の工夫について発表し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して記事を書き換えたり、場面の描かれ方を比較し、場面の展開や表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物のものの見方や考えについて考え、人物像をつかんだり、筆者の主張をその根拠について捉え、書き方の工夫について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 段落の役割や段落どうしの関係を捉え、要旨をつかみ、文章の構成や表現の効果について考える活動の後に、事実と考えとの関係を捉え、要旨をつか				

	み、必要な情報に着目して要約する活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の日常生活から題材を決め、出来事や思いがいきいきと伝わるように随筆を書く活動の後に、表現の効果を考えて描写し、想像した場面が伝わるように工夫して物語を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の話し手の意見や根拠に注意して聞き、自分の考えと比較する活動の後に、話の展開を予測しながら聞き、内容や表現の仕方を評価して自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や社会生活とつながりのある体験学習について、それぞれの場面に応じたスピーチ活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な種類・テーマの本を紹介した「読書案内」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「領域別教材一覧」で、既習事項を振り返らせたり、今後の学習の見通しをもたせたり（全学年）、「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 『『言葉の力』一覧』で中学校3年間の学習を見通したり振り返ったり（全学年）、脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1学年	国語・015-72	現代の国語 1
		第2学年	国語・015-82	現代の国語 2
		第3学年	国語・015-92	現代の国語 3
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 必要な情報を整理して防災に関するリーフレットを作成する活動や、仮名遣いなどに注意して「竹取物語」を音読し、古典の世界に親しむ活動 第2学年～ 情報を整理・活用して水問題に関する考えをまとめる活動や、「枕草子」などを読んで、古文に表れた昔の人のものの見方や考え方を知る活動 第3学年～ 情報の扱い方について、考えたことを話し合う活動や、「論語」の言葉を選んで引用し、身の回りの事柄と関連付けて、考えたことを書く活動			
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 日常生活から話題を決め、構成を工夫して伝える活動や、話題や展開に沿って話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動 第2学年～ 資料や機器を活用して自分の考えを分かりやすく伝える活動や、地域の魅力を伝えるために集めた材料を整理し、伝える内容を話し合う活動 第3学年～ 聞き手や場の状況に応じて話の内容や話し方を工夫して伝える活動や、中学校生活で出会った心に残る言葉を集め、伝える内容を話し合う活動			
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 集めた材料を整理し、伝えたい内容を明確にしてレポートを書く活動や、創作した詩について感じたことが効果的に伝わるように、推敲する活動 第2学年～ 読み手の立場に立って書いた礼状を推敲する活動や、創作した短歌や俳句を読み合い、表現の工夫などについてよい点や改善点を見つける活動 第3学年～ 条件に応じて表現などを工夫し、説得力のある文章を書く活動や、書いた文章を読み合い、論理の展開についてよい点や改善点を見つける活動			
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 必要な情報に着目し、文章を要約し、内容を捉える活動や、文章の構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える活動 第2学年～ 登場人物や相互関係を整理し、登場人物の設定の仕方を捉える活動や、図表や文章などを結び付けて、筆者の考えを捉える活動 第3学年～ 文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する活動や、作品に表れているものの見方や考え方について考えながら読む活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の文章を読み比べ、構成や展開について考えたことを伝え合ったり、描写を基に、登場人物相互の関係や心情の変化を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の人物像について、考えたことを伝え合ったり、自分の知識や経験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章を読んで、人間や社会について考えたことを伝え合ったり、詩の形式やリズムに注意しながら、表現の特徴を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 場面と登場人物の行動の描写を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取			

	る活動の後に、情景等の描写と場面の展開を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識し、文章の構成や展開を考えて書く活動の後に、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫して書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の結論を導くために、相手の考えと比較しながら聞き、互いの立場や考えを尊重しながら話し合う活動の後に、合意形成に向けて、進行の仕方を工夫するなどして計画的に話し合う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 日常生活の様々な体験を振り返って題材を決め、随筆を書く活動（第1学年）や説得力のある論理展開を考え、構成を工夫して批評文を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書習慣の形成のため、読書に親しむ学習活動を扱う「読書活動」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各教材の冒頭に「学習目標」を提示し、末尾には学習を振り返る機会を設けたり、「読むこと」教材の「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「領域別教材一覧」で「つけたい力」を示し、身に付けた力の自覚と達成感を促したり（全学年）、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年	国語・017-72	伝え合う言葉 中学国語1
		第2学年	国語・017-82	伝え合う言葉 中学国語2
		第3学年	国語・017-92	伝え合う言葉 中学国語3
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報同士を比較して言葉と画像を組み合わせ広告を作る活動や、昔話を読んで様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動 第2学年～ 情報の効果を考えたり小説を脚本に書き換えたりする活動や、枕草子などを読んで、作者のものの見方や考え方に対して自分の考えをもつ活動 第3学年～ 複数の社説から情報を捉え、意見や主張について考える活動や、和歌のリズムや内容の特徴を理解して作者の心情を想像し、和歌を味わう活動			
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 伝えたいことを明確にしてお気に入りの一品を紹介する活動や、互いの意見を整理しながら話し合い、自分の考えをまとめる活動 第2学年～ 異なる立場や考えを取り上げて、ニュースや出来事を紹介する活動や、考えの共通点や相違点を捉えながら討論し、結論をまとめる活動 第3学年～ 話し手の表現を評価しながら聞き、自分のスピーチを改善する活動や、互いの考えを尊重しながら話し合い、合意できる結論を出す活動			
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 目的や意図に応じて集めた材料を整理して案内文を書く活動や、客観性のある資料を参考に根拠と主張のつながりを明確にして意見文を書く活動 第2学年～ 伝えたいことを明確にしながら新聞の投書を書く活動や、表現の効果を確かめながら、適切な言葉を選び、手紙やメールを書く活動 第3学年～ 論理の展開を考えて説得力のある批評文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて、目的に応じた内容や表現を工夫し、自己PR文を書く活動			
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 作品の構成や展開、人物の関係を捉えて作品の特徴を説明する活動や、論理の展開や表現の工夫を捉え、筆者の説明の意図をまとめる活動 第2学年～ 作品の印象に残った表現とその効果について考えをまとめる活動や、論の展開と主張を捉えながら知識や経験と結び付けて考えをまとめる活動 第3学年～ 語りに着目しながら作品を読んで考えをまとめる活動や、構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える活動			
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の時間的な場面の展開に着目しながら読んで気付いたことを話し合ったり、論の構成や展開に着目して読みながら筆者の主張の背景を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、語り手の視点を捉えながら読み、登場人物の人物像について考えたり、文章を読み比べて筆者による論の構成や表現の意図の違いを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の特性や価値について批評しながら読んで、自分の意見をもったり、文章の構成や展開の仕方を評価しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えながら紹介文を書く活動の			

	後に、読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを見直したり、確かめたりしながら報告文を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の中心となる内容と、それを説明する内容の関係を踏まえてスピーチの構成を考えて話す活動の後に、課題を多面的に捉えて設定し、根拠の適切さや論の展開に注意して自分の考えを伝える活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の物語の構成や展開を意識して表現の効果を考えながら連作ショートショートを書く活動の後に、中学校での学習を振り返り、情報をまとめて読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する活動（第1学年）や社会問題の中からテーマを決めて情報の信頼性を確かめながら新聞記事を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の学びを深める読書案内として「広がる本の世界」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「みちしるべ」や「学習活動の流れ」などで学習の重点を示したり（全学年）、各單元における教材の冒頭に学習目標を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「言葉の地図」で教材の指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、明朝体やゴシック体を基本としながら、UDに対応した独自の教科書体を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	38・光村	第1学年	国語・038-72	国語1	
		第2学年	国語・038-82	国語2	
		第3学年	国語・038-92	国語3	
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 本やウェブサイトから集めた情報を基に、自分の考えをまとめる活動や、作品を音読して古典のリズムを味わい、古典の世界を想像する活動 第2学年～ 話の筋や論点を整理するために、情報と情報の関係を図で整理する活動や、作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ活動 第3学年～ 発信者の立場や意図を推測し、情報の信頼性を吟味する活動や、古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、メッセージを書く活動				
	○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ わかりやすく伝えるために、話の構成を工夫してスピーチする活動や、話題や展開を捉えて話し合い、その結果をクラス全体に報告する活動 第2学年～ 話の構成を工夫し、資料や機器を使ってプレゼンテーションする活動や、異なる立場や意見を尊重し合いながら討論する活動 第3学年～ 意見を聞いて適切さを判断し、スピーチをよりよくするための助言を考える活動や、身近な話題について話し合い、合意形成を図る活動				
	○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報を取捨選択し、まとめ方や順序を工夫して文章を書く活動や、引用の仕方に注意し、根拠を明確に示してレポートにまとめる活動 第2学年～ 目的に応じて多様な方法で情報を集め、整理し、伝えたいことを紙面にまとめる活動や、表現の効果を考えて、描写を工夫して物語を書く活動 第3学年～ 課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を考えて小論文を書く活動や、広告について客観的に分析し、批評文を書く活動				
	○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 登場人物の心情の変化をとらえ、図などを使って整理する活動や、本文を要約して筆者の主張をつかみ、立場を明確にして意見をまとめる活動 第2学年～ 伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える活動や、観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果について考える活動 第3学年～ 登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する活動や、論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめる活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や描写を結び付けて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考えたり、人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えたり、表現に着目して詩を読み、社会について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 必要な情報を判断してメモを取りながら聞き取り、情報を整理して伝える活動の後に、聞き方や質問の仕方を工夫して相手の話を引き出し、対話を充				

	実させる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 第1学年の文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の後に、文章の構成や論理の展開を吟味し、自分の考えを文章にまとめる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 第2学年の対話を通して、国語を学ぶ意義を考えてコピーにまとめる活動の後に、3年間の国語の学びを振り返り、「これまで」と「これから」の学びについて冊子にまとめて発表会を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 読み手の立場に立って、案内文を推敲する活動（第1学年）や社会生活の中から自分が訴えたいことを見つけ、クラス全体に向けてスピーチをする活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマを扱った読書单元「いつも本はそばに」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学びのカギ」で、学習の流れや学習のポイントを明確に示したり（全学年）、各教材の「振り返る」で、自分の言葉で学びを価値づける場を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 「学習の見通しをもとう」で1年間の学習を見渡したり（全学年）、漢字の読み仮名などの小さな文字にUD書体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 4

＜国語の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- ① 「知識及び技能」、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の教材数と総ページ数
- ② 伝統的な言語文化にかかわる教材数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、領域ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 我が国の伝統や文化に対する関心や理解を深めることが求められていることから、伝統的な言語文化にかかわる教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある教材等の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目	発行者	東書			三省堂			教出			光村		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
① 内容・領域の教材数	知識及び技能	51	53	44	50	48	43	47	46	47	66	64	68
	A 話すこと・聞くこと	6	4	5	4	4	5	8	7	10	7	7	7
	B 書くこと	8	9	6	6	6	4	13	12	11	13	11	8
	C 読むこと	22	22	23	18	22	18	20	20	23	17	19	22
	総ページ数	306	310	322	366	366	366	357	373	357	344	344	340
	前回の総ページ数	342	346	354	357	357	341	354	366	354	340	336	324
	増減	-11%	-10%	-9%	3%	3%	7%	1%	2%	1%	1%	2%	5%
②	伝統的な言語文化にかかわる教材数	4	3	3	6	4	4	7	7	7	5	7	9
③	北海道とかわりのある内容を取り上げている箇所数	4	2	2	0	5	3	9	3	4	4	2	4

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

※③は、「北海道」や地名、地図が記載されている部分、アイヌ語が表記されている部分を取り上げ、カウントは様式 5 の教科書の構成の数とした。

様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者 姓	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	1 方言と共通語（P115）	文章	北海道・東北地域の「いずい（体にちょっとした違和感がある）」や、（略）
	私のタンポポ研究（P118、125）	脚注	【セイヨウタンポポ】（略）一九〇四年、植物学の専門誌に札幌を中心に広がっていることが報告されている。
		脚注	【日本の都市部では・・・（略）】（略）東北や北海道では、セイヨウタンポポが多く見られる。
	写真の意見文(P130、131)	文章	12日から（略）「北海道バルーンフェスティバル」が、北海道河東郡上士幌町で三年ぶりに開催された。（略）色とりどりの気球が上士幌の夏の青空を彩った。
		写真	バルーンフェスティバルの様子
	未来を考える本(P229)	作品	『知里幸恵物語』（金治直美）
		文章	主に北海道で独自の文化を持って暮らしていたアイヌ。一九〇三年にアイヌとして生まれた幸恵の、差別の中で生きた十九年の生涯。
	2 世界を広げる本 日本文化(P84)	作品	『カムイ・ユーカラ』（山本多助）
		文章	アイヌの人々が語り継いできた物語。（略）天地創造の物語「アイヌ・ラッ・クル伝」も収録されている。
		図	スズメの繁殖可能性評価の変化（北海道が図示）
三 省 堂	3 俳句の創作と句会(P28)	文章	反対に北海道の友達は、道内で桜が咲く季節には、本州で初夏に開く花もいっしょに咲くので、歳時記の桜の感覚と北海道の桜の感覚は、微妙に異なるのだと言います。
		文章	他教科で学ぶ漢字(1)(P104)
	2 短歌十首（P70） 壁に残された伝言（P86） 動物園でできること（P192、193、194）	文章	屯田兵によって北海道開拓が進められた。（新出漢字「屯」の用例） 津軽海峡を船で渡り、北海道を目指す。
		作者	穂村弘 北海道の生まれ。
		作者	井上恭介 北海道の生まれ。
		文章	（略）旭川市旭山動物園は、この二つを両立させる動物園でありたいと考え（略）。 など
		脚注	【旭川市旭山動物園】北海道旭川市にある日本最北の動物園。
		写真	17メートルの高さを移動するオランウータン（

教 出				旭山動物園)
		写真		「ペンギンの散歩」の様子(旭山動物園)
		脚注		【エゾシカ】北海道に分布。
		写真		厳しい冬をたくましく過ごすエゾシカ(旭山動物園)
		作者		奥山英登 北海道の生まれ。
	読み方を学ぼう⑦ 例示 (P200)	文章		「楽しみの場」と「学びの場」を両立させるために旭山動物園が実践してきたこと (「動物園でできること」における例示の例)
		文章		まずはじめは、オランウータンの展示である。
		文章		次に紹介するのは旭山動物園の冬の風物詩ともいえる「ペンギンの散歩」である。
		文章		三つ目の例として、私が飼育係を七年間務めてきたエゾシカの展示を紹介したい。
	論説文 (P204)	文章		上野動物園や旭山動物園などでは、八割以上が動物園生まれの動物なのだ。 (論説文の例)
	3 おくのほそ道 (P132)	文章		泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、蝦夷を防ぐと見えたり。
		脚注		【蝦夷】昔、東北地方から北海道にかけて住み、朝廷に服従しなかった人を指す。
	小さな図書館 (P246)	作品		『アイヌ語のおもしろさ』(知里真志保)
		文章		(略) アイヌ語を通して、自然とともに暮らしてきたアイヌの人々の考え方にふれよう。
	「ありがとう」と言わない重さ (P273)	図		モンゴル周辺地図 (北海道が図示)
	1 広がる本の世界 2 (P54)	作品		『北海道の動物たち 人と野生の距離』(千嶋淳)
		文章		そしてその翌年、北海道大学の松永勝彦先生と出会い、(略)
		写真		北海道育ちのなめらか牛乳 (牛乳パッケージの例)
		文章		屯田兵のれきしを調べる (新出漢字「屯」の用例)
		文章		オジーサンガ ヤマエ シバカリニ イッタ。 オーバーサンワ カワエ センダグニ イッタドサ。 (北海道函館市)
		地図		言葉の分布 (北海道が図示 図1～3)
	言葉 3 方言と共通語 (P274、275、276)			

	銀のしずく降る降る (P292～301)	文章	彼女はアイヌの女性であった。 など
		写真	知里幸恵が書いた習字
		写真	知里幸恵がついにその刊行を見ることのできなかった『アイヌ神謡集』
		図	北海道の略図
		脚注	【コタン】アイヌ語で「集落」のこと。(略)
		脚注	【ジョン＝パチェラー】(略) 布教のかたわら、アイヌ研究に生涯をささげた。
		写真	女子職業学校入学当時の幸恵
		脚注	【上川第三尋常高等小学校】
		脚注	【金田一京助】(略) 特にアイヌ語研究に大きな業績を残した。
		写真	幸恵がユーカラを筆録したノート
		写真	知里幸恵 文学碑 (旭川市)
		写真	知里幸恵 銀のしずく記念館 (登別市)
		作者	藤本英夫 北海道に生まれた。
	広がる本の世界 (P301)	作品	『アイヌと神々の物語 炉端で聞いたウウエペケレ』 (萱野茂)
		紹介	「ウウエペケレ」とは、アイヌの昔話。(略)
		作品	『塩狩峠』 (三浦綾子)
	「ふるさと」を巡る～文学にゆかりのある風景～ (巻末の見返し)	写真	北海道 「一握の砂」 石川啄木 彫刻家、本郷新が制作した啄木座像 (函館市・大森浜)
2	広がる本の世界 2 (P72)	作品	『北国からの手紙 キタキツネが教えてくれたこと』 (井上浩輝)
		文章	北海道の動物たちの生き生きした姿を写真とともに送るエッセイ。
	短歌の味わい (P169)	作者	穂村弘 北海道に生まれた。
	悠久の自然 (P308)	文章	あの頃、北海道の自然に憧れていた。(略)
			僕にとって北海道さえ遠い世界だった。など
	3 実用文の情報を捉えて生かす (P112)	写真	北海道産さんま (広告の例)
		文章	泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、夷を防ぐとみえたり。(略)
			【夷】
		脚注	【北国通い】大阪などと現在の北海道・東北・北陸地方の諸港を結ぶ航路。
		作者	穂村弘 北海道に生まれた。
光村	1 続けてみよう (P20)	資料	「イランカラプテ」—北海道のアイヌ語アイヌ語のあいさつ。(略)

			(言葉の手帳の例)
	方言と共通語 (P119、P121)	図	「捨てる」の方言分布図 (北海道が図示)
		言葉	アイヌ語 アイヌ (人間)、カムイ (神)、イ ヨマンテ (霊送りの儀式)、コタン (村)、ピ リカ (よい)、イヤイリケレ (ありがとう)
		図	日本における消滅危機言語 (北海道が図示)
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ (P128)	文章	北海道から沖縄まで日本列島に広く分布し、街 中にも姿を現すので、(略)。
	幻の魚は生きていた (P290)	図	クニマスの生息地 (北海道が図示)
2	本の世界を広げよう (P88)	作品	『カムイ・ユーカラ』山本多助
		文章	アイヌ民族が大切に語り継いできた、動物の神 々の物語。
	文法3 付属語 (P253)	文章	北海道では昨日、雪が降ったらしい。 (助動詞「らしい」の例文)
3	論理の展開を整える (P121)	文章	「けっぱれ」という言葉は、東北地方だけでな く、北海道でも使われている。 (方言を守る意義を主張する意見文の例)
	アラスカとの出会い (P207)	文章	十代の頃、北海道の自然に強くひかれていた。 (略) あの頃、北海道は僕にとって遠い土地だ った。
	文法2 文法のまとめ(P234)	言葉	ドア 北海道 一つ (自立語の設問で、名詞を示す単語の一つとし て「北海道」と記載)
	郷土ゆかりの作家・作品(P298)	作品	北海道 三浦綾子『塩狩峠』より
		文章	汽車はいま、塩狩峠の頂上に近づいていた。こ の塩狩峠は、天塩の国と石狩の国の国境にある 大きな峠である。旭川から(略)。

※「北海道」や地名、地図が記載されている部分、アイヌ語が表記されている部分を具体的な内容として取
り上げた。